

(別紙5)

整理番号 2017P-144
補助事業名 平成29年度 障害者のグループホームの建築 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 三穂の園

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域移行を希望する障害者の受け皿として、入所施設からの移行先、精神科病院入院患者の退院後の移行先、在宅生活者で在宅生活継続の難しさを訴え支援あるグループホームでの生活を希望される方等の受け入れ目的とする。

(2) 実施内容

障害者のグループホームの建築

(URL) <http://mihonosono-sumikura.jp/publics/index/26/>



完成したグループホーム住倉八島5棟外観



南西方向からの外観



玄関入口



玄関入口横に設置している標識

(別紙5)



居間・食堂
初度調弁 補助金で購入した液晶テレビ 50 型



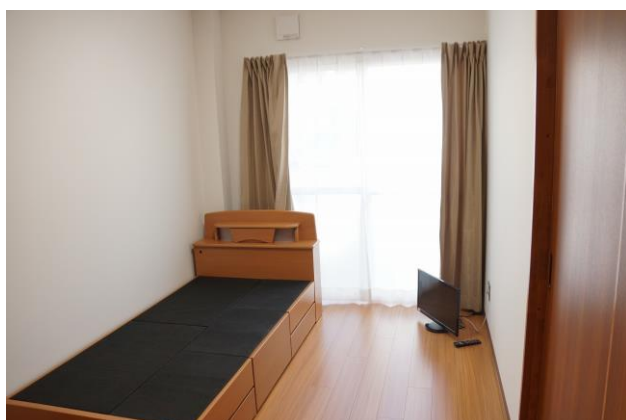
初度調弁 補助金で購入した冷蔵庫・電子レンジ



初度調弁 補助金で購入した洗濯機



浴室



居室
初度調弁 補助金で購入した液晶テレビ 24 型



自動火災報知機・非常通報装置

2 予想される事業実施効果

建築した10人ユニットのグループホームスタイルが、近隣施設のグループホームの参考モデルになる。同業障害者支援施設の家族会、障害者の親の会、小中学校教員関係者、障害者地域生活支援センター、県外の障害福祉課からも見学、問い合わせが多くある。平成30年2月、当法人の児童発達支援センターの家族会の方のグループホーム見学が入る。就学前の児童の親御さんで、子供のグループホーム利用年齢までには大分先ではあるが、この見学を通して、将来の1ページを描くことができたとの感想を聞くことができる。

当法人の住倉学園からの入所者の地域移行の受け皿をはじめ、在宅者、精神科病院入院患者、支援学校卒業生等の今後の移行先としての利用が見込まれる。また、今回完成したグループホームは、特に玉島市街地に立地していることで、近隣の作業所の関係者から、生活の場としてのアクセスの良さを評価して頂き、利用の話が進む。さらには、世話人、夜勤専門員の人員を増やさなければならないことから、雇用に関しても貢献を図っていけるようにする。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

- ・地元紙「山陽新聞」に広告掲載（平成30年4月14日）
- ・平成30年5月発行の当法人広報誌「住倉」第26号に掲載予定

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 みほのその 三穂の園

住所： 〒713-8111

岡山県倉敷市玉島服部字弥高3788-1

代表者： 理事長 おか よしお 岡 良夫

担当部署： グループホーム すみくら 住倉

担当者名： せいかつしえんじちよう 生活支援次長 つついきよき 筒井清樹

電話番号： 086-525-2522

F A X： 086-525-2411

E - m a i l： sumikura@movie.ocn.ne.jp

U R L： <http://mihonosono-sumikura.jp>